TOPGEAR®

取扱説明書

Winker Auto Canceller WAC-01 （110型3Pカプラー）

12vオートバイ専用　ウインカーオートキャンセラー

特長

●車やハーレー、BMWの様に右左折のあと自動でウインカーを消灯！
独自のシステムが、車体の傾斜を感知し自動でウインカーを消灯します。

●スピードパルス信号対応！
電気式スピードメーター車へ装着の場合、スピードパルス信号を取り込む事で、傾斜の少ない右左折や、車線変更後も自動でウインカーが消灯します。
※機械式スピードメーター車の場合、No.11015【PG-110】(¥2,095税抜き)を併用する事で上記の機能が使用可能になります。

●LEDウインカー対応！
ノーマルウインカーは勿論、社外のLEDウインカーやLED対応ウインカーリレーを装着した車両にも対応します。

セット内容

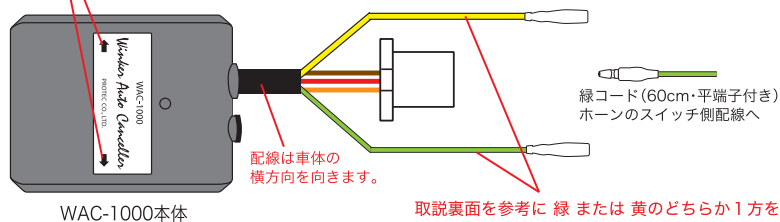
●WAC-1000本体 ＆ 両面テープ× 各1　●接続用ハーネス(WHS-01) × 1
●白コード(1ｍ) × 1　●緑コード(60cm･平端子付き) × 1
●緑コード(30cm･クワ型端子付き) × 1　●エレクトロタップ白 × 1
●ギボシ（オス･メス）× 各1　●取扱説明書(保証書付き)

注意事項

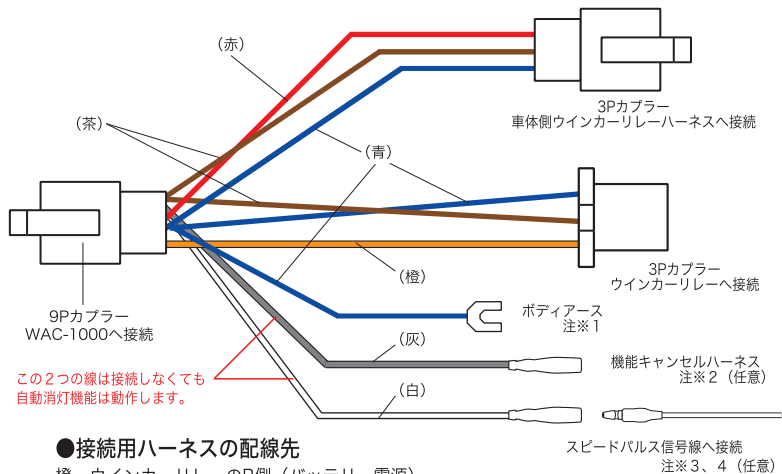
●本製品は12V仕様のバイク(バッテリー搭載車)専用です。
●車種ごとのウインカーリレーやウインカースイッチの構造により正しく動作しない場合がございます。当社の適合情報をご確認ください。
●公道において使用される場合は、交通法規を守って運転してください。
●本製品の一般的な使用条件(雨天走行や洗車で濡れる程度)を想定した防水対策を施しております。(ハーネスのカプラーやギボシは除く)
●取付けの際は取扱説明書に沿って正しく取付けてください。
取付け方法を間違えると火災･故障などの原因となります。
●本製品の使用により生じた故障･事故などの損害や、修理の際に生じる脱着工賃やその他諸費用につきましては当社で一切責任を負いかねます。
あらかじめご了承ください。

WAC-1000センサーの取り付け方法

●WAC-1000本体は、ラベル面を上にして必ずラベルの矢印マークが車体の前後方向を向く様に車体に対して水平に両面テープで貼り付けます。
※前後方向への傾きは多少あっても構いません。

この矢印マークが車体の前後を向く様に！

●WAC-1000本体の黄または緑線について

車両によってウインカー自動消灯後にホーンを鳴らすとウインカーが点滅を開始することがあります。取説裏面を参考に配線処理を行ってください。

配線図(接続用ハーネス)

●接続用ハーネスの配線先

橙…ウインカーリレーのB側（バッテリー電源）
赤…車体側ウインカーリレーハーネスのB側（バッテリー電源）
茶…ウインカーリレーおよび車体側ハーネスのL側（リレー出力）
青…ボディーアース（注※1）または、バッテリー（－）または、車体ハーネスのマイナス線
灰…自動消灯機能キャンセル用ハーネス（注※2）
白…スピードパルス信号入力線（注※3）（注※4）

注※1：ボディーアースは必ずステムより後方で接続してください。
ステム前方に接続した場合、正常に動作しない場合があります。
注※2：市販のON/OFFスイッチを接続し、スイッチの配線のもう一方をボディーアースへ接続。スイッチONで本製品が機能し、スイッチOFFで自動消灯機能を停止します。
注※3：機械式スピードメーター車は別売りのPG-110を併用する事で使用可能。
注※4：ホイール１回転で８パルスのスピード信号を想定した設定となっております。
約40km/h以上で本機能が動作します。車種ごとにパルス数の違いがありますので上記の条件と違う車両の場合、ウインカー自動消灯までの時間に差が出ます。

メーカー別純正ウインカーリレー配線＆スピードパルス信号線

	B：バッテリー電源（＋）	L：リレー出力	スピードパルス信号
ホンダ	黒 または 黒／茶	灰色	桃 または 桃／緑 (メーター側)
ヤマハ	茶	茶／白	白 (メーター側)、白／黄 (ECU側)
スズキ	橙	水色（空色）	桃 (メーター側)
カワサキ	茶 または 赤／黄	橙	桃 、黄 、 若葉／赤 (メーター側)

※上記の表は当社調べによるものですが、取付けされる車種と一致しない場合があります。
車両メーカー発行のサービスマニュアルの配線図を確認頂きまして正しい接続をお願いします。

動作チェック ★取り外した外装類を戻す前に必ず行ってください。

① 本製品の取り付け終了後、キーONにして５秒経ってから車体を垂直にして、左右どちらかのウインカーを作動させます。次に車体をゆっくり傾けた後、垂直に戻しウインカーが自動消灯する事を確認してください。

② 続けて①で操作した方向と同じ方にウインカーのスイッチを入れます。
この時ウインカーが点滅する事を確認してください。
ウインカースイッチの構造によっては同一方向へ連続した操作でウインカーが作動しない事があります。その様な場合に、同じ方向に連続したスイッチ操作を行う時はウインカースイッチをプッシュしてからスイッチを入れるようにしてください。

● ウインカー自動消灯後、ブレーキ操作やホーン操作の際に、ウインカーが起動する場合がございます。裏面を参考にそれぞれの対処を行ってください。

自動消灯後、**ブレーキ操作**でウインカーが起動する場合

●テールランプのマイナス線をボディアースしてください。
車両側のテールランプハーネスのマイナス線を切断して、
付属のメスギボシを圧着します。
付属の緑コード（30cm・クワ型端子付き）をボディーアースし、
テールランプハーネスのマイナス線と接続します。

参考配線色
ホンダ…緑　、ヤマハ…黒　、カワサキ…黒／黄　、スズキ…黒／白
※サービスマニュアルの配線図やテスターで確認してください。

自動消灯後、**ホーン操作**でウインカーが起動する場合

●付属の緑コード（60cm・平端子付き）をホーンに接続されている
２本の配線のうち、スイッチ側ハーネスへ割り込ませます。
WAC-1000本体から出ている黄線または緑線のどちらか一方と
接続します。

マイナス側スイッチの場合は黄色へ、
プラス側スイッチの場合は緑へ接続します。

※車種によってホーンスイッチの極性は異なります。
一般的にホーンスイッチはマイナスが多いです。
（ホンダのスクーターにはプラススイッチが多いです。）

参考配線色
ホンダ…若葉　、ヤマハ…桃　、カワサキ…黒／白　、スズキ…黒／青
※サービスマニュアルの配線図やテスターで確認してください。

自動消灯後、**他の電装パーツのスイッチ操作**で ウインカーが起動してしまう場合

●本製品以外にグリップヒーターなどの電装系パーツを取り付けて
いる場合、そのパーツのスイッチから出るノイズが原因でウインカー
自動消灯後にウインカーが起動してしまう事があります。
その場合、双方のパーツのマイナス線の接続先を別々にしてください。

ウインカーインジケーターランプが点灯しっぱなしになる場合

●ウインカーインジケーターランプが１灯式のオートバイに
取り付けた際、ウインカー消灯時にインジケーターランプが
点灯しっぱなしになる場合があります。
これは、オートバイ側の配線構造によるものです。
ウインカー点滅時は、インジケーターランプも正しく点滅します。

【WAC-OP02　インジケーターリバイサー】（別売り）をご使用
頂く事でインジケーターが正常に動作致します。

LEDウインカー装着車両で、 **ウインカーインジケーターランプが消えきらない場合**

●ウインカーをLEDに交換した車両で、ウインカー点滅時に
インジケーターランプが完全に消えきらない事があります。

【WAC-OP03　インジケーターイレイサー】（別売り）をご使用
頂く事でインジケーターが正常に動作致します。

速度感知式 ウインカー自動消灯機能について

●本製品はホイール１回転で８パルスの信号に対応する仕様です。
約40km/h以上でウインカースイッチを入れた時、数秒後に自動消灯
します。（速度によって消灯するまでの時間が異なります。）
それ以下の速度での走行時にはこの機能は作動しません。
また、車種ごとにホイール１回転のパルス数に違いがありますので、
自動消灯するまでの時間が異なります。

※時速40km以下で自動消灯してしまう車両の場合、ホイール１回転
あたりのパルス数が多い事が原因です。その場合は別売りの
【WAC-OP04　スピードパルス信号変換機】をご使用頂く事で
スピードパルス信号が補正され、本機能が正常に動作致します。

※機械式スピードメーター車の場合、別売りの【PG-110】が必要です。
配線方法は、PG-110本体の３本の線（赤、青、白）を接続ハーネス
の同じ色の線に接続します。
また、PG-110付属のマグネットは６〜８枚使ってください。
マグネットはなるべく等間隔で貼り付けてください。多少ズレても
構いません

その他、ご使用にあたっての説明事項

●WAC-1000本体センサーの特性として、車体が傾斜し始めてから
垂直に戻った時、または、一定の角度で一定時間旋回した時に
ウインカーを消灯する設計となっております。

●本製品は車体側ウインカースイッチから発生する信号を独自の
システムで受信して作動します。車両ごとのウインカースイッチ
の構造の違いで左折後、左折のように同一方向へ連続したスイッチ
操作の際、ウインカーが起動しない場合があります。
この様な場合、次のスイッチ操作時、一度スイッチを
プッシュしてからウインカースイッチを入れてください。

●ウインカースイッチの接点が劣化した古い車両に取り付けた場合、
ウインカー自動消灯後にスイッチを操作していなくても、軽く触れた
だけでウインカーが点滅を始める事があります。

●ボディーアースの場所によって、ウインカー自動消灯後に
ウインカースイッチ操作を行っていなくてもウインカーが起動
してしまう事があります。
この場合はボディーアースをせずに、車体側ハーネスのマイナス線
（スピードメーターやウインカーなど）に結線してください。

■右折と左折では車両の傾斜角度やターン中の走行距離が違うため、自動消灯のタイミングが早い、遅いと感じる事がありますが、
本製品のセンサーが正常に作動していれば必ずウインカーは自動で消灯します。